

7/7 ～10 政務活動

(政和会・創政ひらど・平戸市民クラブ)

【参加者】
政和会 辻 賢治 池田 稔巳
創政ひらど 松尾 実 吉住 龍三
平戸市民クラブ 竹山 俊郎 吉住 威三美 松口 茂生

京都府京都市 京都市考古資料館

○イベントや廃校活用などで魅力アップ
発掘体験イベントや収蔵庫としての廃校活用など、平戸市の保存・研究・展示・教育の参考にしたい。

滋賀県大津市 大津市歴史博物館

○企画展と発表の場で切れ目ない利用を
ミニ企画展に加え、市民の発表の場として貸し出す試みは利用促進にとっても効果的なものと感じた。

滋賀県東近江市 道の駅「奥永源寺溪流の里」

○過疎地の高齢者を支える自動運転サービス
今後、さらなる高齢化に伴い、自動運転サービスの需要はさらに増加すると思われる。



京都市考古資料館



奥永源寺「けい流カー」(自動運転車)

7/22 ～24 政務活動

(新蒼会・新時代・新波クラブ)

【参加者】
新蒼会 山田 能新 神田 全記 綾香 良浩
新時代 大村 謙吾 近藤 芳人
新波クラブ 井元 宏三 吉福 弘実 針尾 直美

北海道斜里郡斜里町 知床世界遺産センター

○住民まで浸透した「人と自然との共生」教育
世界自然遺産登録エリアに含まれる「知床国立公園」の豊かな自然を伝える体験型展示と、自然を守るルールやマナーが紹介されるなど、自然保護教育・情報発信の重要な拠点となっている。

北海道網走市 網走市役所

○カーボンニュートラル実現と災害対応力強化へ
官民協業の「あばしり電力」では、平常時は小学校を含む公共施設48カ所+グループ会社1カ所へ、災害時や猛暑時には各避難所へ電力を供給する。太陽光発電と大容量蓄電池を安定的に運用できる技術力をもつ企業との協業で、常時安定した電力供給を実現する事例であった。



知床世界遺産センター



網走市役所での説明

8/20 長崎県市議会議員研修会

去る、8月20日、対馬市において、県内13市の市議会議員約200人が集い「長崎県市議会議員研修会」が開催されました。

今回は、廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏を講師に迎え「議会におけるハラスメント」と題し講演があり、ハラスメントに関する基準や防止、法の適用などについて、事例が紹介されました。



県内各市から議員が参加



平戸市からも参加

各種視察レポート

新蒼会・新時代・新波クラブ視察
○7月23日 北海道斜里郡斜里町
○7月24日 北海道網走市

政和会・創政ひらど・平戸市民クラブ視察
○7月8日 京都府京都市
○7月9日 滋賀県東近江市
滋賀県大津市

総務厚生委員会行政視察
○6月30日 愛知県田原市
○7月1日 京都府南丹市

(地図) Map-It マップイット | 地図素材サイトから

訂正

議会だよりVol.89(令和7年8月1日発行)7ページに掲載の地図において、議会運営委員会の視察先・大阪府枚方市の位置に誤りがありました。

6/30 ～7/2 総務厚生委員会行政視察

総務厚生委員会では「公共施設の適正管理」「移住定住施策」について視察しました。

視察報告書の全文は、こちらの二次元コードからご覧になれます▶



【参加者】委員長 吉住 龍三 議長 松本 正治
委員 近藤 芳人 竹山 俊郎 山田 能新
吉住 威三美 吉福 弘実

愛知県田原市 公共施設の適正化

東西に細長い地形で平戸市と似た課題を抱える田原市の公共施設適正化の現状を視察しました。

○田原市公共施設等総合管理計画(平成28年2月)

長期的な視点で計画的に更新・統廃合・長寿命化を行い、財政負担の軽減、平準化や公共施設の最適な配置を実現するために策定された。
(目標)10年間で20%、次の10年間で10%費用削減

○田原市の抱える課題

- ▶旧町ごとに目的が重複した施設の集約が必要
- ▶老朽化した施設の更新・長寿命化が進まない
- ▶物価・人件費の高騰で計画通りに進まない
- ▶小学校統廃合への合意形成が難しい

公共施設の適正化に向け、庁内横断的な推進体制で取り組まれていた。

加えて、外部からの提言等も受けることができる効率的な運用方法を含め、平戸市としても大いに参考となるものであった。

京都府南丹市 移住定住施策

山間地域で行政効率が低いにもかかわらず、年間100人以上が移住する南丹市を視察しました。

○地域の特徴ごとに類型化した重点施策

旧町単位でなく人口動態に応じ施策を推進している。

○集落の教科書

事前に地域の長所・短所を示し、地区役員と意見交換することで、移住後のトラブルを防止している。

○国・府などの補助活用

事業費7,000万円のうち一般財源1,600万円と、補助を活用し、定住サポートセンターなどが手厚く支援している。

人口規模は同等ながら、国や京都府などの補助を有効活用した施策の推進や、移住者の視点で地域とつないでいくサポート体制など、移住・定住政策は特筆すべきもの。

平戸市でも、国・県への要望や市内サポート体制の充実化のため参考となるものであった。